

「十三会の運営についてドラッカーの『マネジメント』で考える」

本年度ビジネス書 No.1 セラー

岩崎 夏海 著「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」（通称：もしドラ）が、ビジネス書としては異例のミリオンヒットとなっています。

<http://moshidora.jp/>

同書は、敏腕マネージャーと野球部の仲間たちが甲子園を目指して奮闘する青春小説です。高校野球の女子マネージャーであるみなみちゃんは、マネージャーの仕事のために、ドラッカーの『マネジメント』を間違っ買ってしまいます。はじめは難しくて後悔するのですが、しだいに野球部のマネジメントにも生かせることに気づき、甲子園を目指して野球部の改革に取り組んでいく物語です。



ちなみに著者の岩崎夏海氏は、元々放送作家で秋元康に師事し、AKB48のプロデュース等にも関わったという経歴の持ち主です。

さて、物語の中に登場するドラッカーの『マネジメント』とはどんな本なのでしょうか？

ドラッカーは1909年オーストリア生まれの経営学者・社会学者であり、その生涯の中で膨大な著作を残し多方面に影響を残した人物です。東西冷戦の終結、高齢化社会の到来、知識社会への転換といった社会の根源的な変化をいち早く示し、体系としてのマネジメントを確立し、「分権化」「自己目標管理」「民営化」「ベンチマーキング」「コア コンピタンス」などマネジメントスキルのほとんどを生み育てたことから「20世紀の知的巨人」「マネジメントの父」などと称されています。



『マネジメント』は、ドラッカーが自らのマネジメント論を体系化した大著『マネジメント——課題、責任、実践』（1974年発行）のエッセンスを、初心者向けに一冊にまとめた入門書として2001年に発行された書籍です。マネジメントの仕事とは実践であり、成果を出すことであるとされ、そのためにマネジメントが果たすべき使命と役割、取り組むべき仕事、さらには中長期的に考えるべき戦略について、具体的に45の項目について解説されています。

「もしドラ」ではこの『マネジメント』の中の文章が各所で引用され、主人公であるみなみちゃんを中心にマネジメントの考え方を野球部の運営に活かしていく形式で物語が進んでいきます。

そこで本日は、ドラッカーの『マネジメント』の文章を手がかりに当会 十三会の運営についてあらためて考えてみたいと思います。

「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」目次

プロローグ

- 第1章 みなみは『マネジメント』と出会った
 - 第2章 みなみは野球部のマネジメントに取り組んだ
 - 第3章 みなみはマーケティングに取り組んだ
 - 第4章 みなみは専門家の通訳になろうとした
 - 第5章 みなみは人の強みを生かそうとした
 - 第6章 みなみはイノベーションに取り組んだ
 - 第7章 みなみは人事の問題に取り組んだ
 - 第8章 みなみは真摯さとは何かを考えた
- エピローグ

主な登場人物

川島みなみ	都立程久保高校野球部のマネージャー
宮田夕紀	みなみの幼なじみ。野球部マネージャー
北条文乃	みなみの後輩。野球部マネージャー
柏木次郎	みなみの幼なじみ。キャッチャー
浅野慶一郎	野球部のエース
二階正義	野球部の補欠部員
加地誠	野球部の監督



高校野球の女子マネージャーのみなみちゃんは、マネージャーの仕事のために、ドラッカーの『マネジメント』を間違って買ってしまいます。はじめは難しく後悔するのですが、しだいに野球部のマネジメントにも生かせることに気がきます。

ドラッカーの組織やその組織を構成する人々を活かすための言葉をヒントに、自分たちが目指すべきこと、取り組むべきことを考え、実行し、改善することで、野球部を甲子園を目指すレベルに改革していきます。

「マネジメント-課題、責任、実践」目次

マネジメントの使命	26 組織の精神
1 マネジメントの役割	第6章 マネジメントの技能
第1章 企業の成果	27 意思決定
2 企業とは何か	28 コミュニケーション
3 事業は何か	29 管理
4 事業の目的	30 経営科学
5 戦略計画	
第2章 公的機関の成果	第7章 マネジメントの組織
6 多元社会の到来	31 新しいニーズ
7 公的機関不信の原因	32 組織の基本単位
8 公的機関成功の条件	33 組織の条件
第3章 仕事と人間	34 五つの組織構造
9 新しい現実	35 組織構造についての結論
10 仕事と労働	
11 仕事の生産性	マネジメントの戦略
12 人と労働のマネジメント	36 ドイツ銀行物語
13 責任と保証	第8章 トップマネジメント
14 「人は最大の資産である」	37 トップマネジメントの役割
第4章 社会的責任	38 トップマネジメントの構造
15 マネジメントと社会	39 取締役会
16 社会的影響と社会の問題	第9章 マネジメントの戦略
17 社会的責任の限界	40 規模のマネジメント
18 企業と政府	41 多角化のマネジメント
19 プロフェッショナルの倫理	42 グローバル化のマネジメント
----- 知りながら害をなすな	43 成長のマネジメント
	44 イノベーション
マネジメントの方法	45 マネジメントの正当性
20 マネジメントの必要性	結論
第5章 マネジャー	
21 マネジャーとは何か	付章 マネジメントのパラダイムが変わった
22 マネジャーの仕事	
23 マネジメント開発	
24 自己管理による目標管理	
25 ミドルマネジメント	



【ドラッカーの言葉】

あらゆる組織において、共通のものの見方、理解、方向づけ、努力を実践するには、「われわれの事業は何か。何であるべきか」を定義することが不可欠である。

(もしドラ P24、マネジメント P22)

「われわれの事業は何か」との問いは、ほとんどの場合、答えることが難しい問題である。わかりきった答えが正しいことはほとんどない。

(もしドラ P25、マネジメント P23)

企業の目的と使命を定義するとき、出発点の一つしかない。顧客である。顧客によって事業は定義される。事業は、社名や定款や設立趣意書によってではなく、顧客が財やサービスを購入することにより満足させようとする要求によって定義される。顧客を満足させることこそ、企業の使命であり目的である。したがって、「われわれの事業は何か」との問いは、企業を外部すなわち顧客と市場の観点から見て、初めて答えることができる。

(もしドラ P35、マネジメント P23)

したがって「顧客は誰か」との問いこそ、個々の企業の使命を定義するうえで、もっとも重要な問いである。

(もしドラ P36、マネジメント P23-24)

やさしい問いではない、まして答えのわかりきった問いではない。しかるに、この問いに対する答えによって、企業が自らをどう定義するかがほぼ決まってくる。

(もしドラ P37、マネジメント P24)

【みなみちゃん達はどう考えた?】

■野球部の顧客は誰か

野球部員の『父兄』、野球部の活動に関わる『先生』、『学校』、学校にお金を出している『東京都』、東京都に税金を払っている『東京都民』、甲子園大会を運営する『高校野球連盟』、全国の『高校野球ファン』、そして当然『野球部員』

■これらの顧客が共通して求めているものは『感動』

■すなわち野球部とは『顧客に感動を与えるための組織』

■野球部が「甲子園に行く」ことにより多くの人に感動を与えることができる。

(もしドラ P52-58)

【考えてみましょう】

★十三会にとっての顧客とは誰でしょう

★その顧客が求めているものは何でしょう

★十三会の使命は何でしょう

【ドラッカーの言葉】

企業の目的は、顧客の創造である。したがって、企業は二つの、そして二つのだけの基本的な機能を持つ。それがマーケティングとイノベーションである。マーケティングとイノベーションだけが成果をもたらす。

(もしドラ P58、マネジメント P16)

真のマーケティングは顧客からスタートする。「われわれの製品やサービスにできることはこれである」ではなく、「顧客が価値ありとし、必要とし、求めている満足がこれである」と言う。

(もしドラ P59、マネジメント P17)

マーケティングの理想は、販売を不要にすることである。マーケティングが目指すものは、顧客を理解し、製品とサービスを顧客に合わせ、おのずから売れるようにすることである。

(マネジメント P17)

【みなみちゃん達はどう考えた?】

■野球部員各々の不満、望みを聞き出すところからマーケティングがスタート
一人ひとり面談しながらヒアリングしていくことで、意外な思いや不満を知ることになる。
(もしドラ P69-88)

【考えてみましょう】

★十三会に入ったきっかけはなんでしたか?

どんなメリットを期待しましたか?

【ドラッカーの言葉】

消費者運動が企業に要求しているものこそ、まさにマーケティングである。それは企業に対し、顧客の要求、現実、価値からのスタートせよと要求する。企業の目的は要求の満足であると定義せよと要求する。

(もしドラ P124、マネジメント P16)

【みなみちゃん達はどう考えた?】

■部員たちが練習をサボるのは練習内容に魅力がないから。すなわち練習メニューの内容改善を求められていると考える。

練習はサボっても試合はサボらない。チーム制によって練習に試合の要素(競争・結果・責任)を取り入れることでやりがいのある魅力的な練習メニューの開発に取り組む。

(もしドラ P128-132)

【考えてみましょう】

★十三会の例会は魅力あるテーマ設定ができていますか？

過去の例会やイベントで印象に残っているものはどんなテーマ・内容でしたか？

【参考資料:平成19年～21年の例会・イベント】

- ◆討論 「今、国政について考える」
- ◆講演会 「地域スポーツに夢をのせて」
講師 政純一郎氏 スポーツライター
- ◆講演会 「歯科業界ここだけの話」
講師 十三会会員 F氏(歯科技工士)、T氏(歯科医師)、T氏(歯科衛生士)
- ◆緊急討議 「民主党代表選について考える」
議長 打越あかし氏
- ◆講演会 「社民党って何を考えているの?」
講師 ふじくぼ博文氏 鹿児島市議
- ◆講演会 「元気な100歳を目指して」
講師 中村正文氏 有限会社アテナス
- ◆レクリエーション
みんなで釣りを楽しもう@竜ヶ水釣りイカダ
- ◆講演会 「ISOと情報セキュリティ」
講師 十三会会員 山下亮一氏
- ◆講演会 「社員あるいはその家族が
新型インフルエンザに感染」
講師 宮里一葉氏 社会保険労務士
- ◆特別イベント
『おはら祭り in 照国表参道』出店
- ◆30周年記念講演
「これからの国政はどう変わるのか」
講師 川内博史氏 衆議院議員
- ◆講演会 「市議選にむけて」
講師 井上剛氏 鹿児島市議会議員
- ◆講演会 「県政からみた鹿児島市
～市議選を控えて」
講師 芝立鉄彦氏 鹿児島県議会議員
- ◆講演会 「白い巨塔文科系 Ver
～今大学では何が?～」
講師 馬頭忠治氏 鹿児島国際大教授
- ◆レクリエーション
親子ソフトボール大会
- ◆講演会 「地域スポーツ
～地方のスポーツ振興と
プロのもたらす可能性～」
講師 大山亮平氏
スポーツフロンティア鹿児島代表取締役
- ◆講演会 「コーチングスキルの活用」
講師 大坪潤次氏 A-cube株式会社
- ◆講演会 「インドで教えられた「丁寧」の意味」
講師 長濱久代氏 ぶらーむす保育園
- ◆講演会 「"ブランドUP!!パワー DOWN!!
(高速出店の裏側で何かが
置き去りにされた)"」
講師 額賀愼一氏 (株)鹿児島食品
- ◆特別イベント
『おはら祭り in 照国表参道』出店
- ◆講演会 「幕末についての
さまざまな人間模様」
講師 東川隆太郎氏
NPO 法人まちづくり地域フォーラム
- ◆講演会 「生活習慣病と食事
～メタボリックシンドローム
にならないために～」
講師 中山好子氏
Y's プラスカンパニー代表
- ◆講演会 「これでいいのか!?鹿児島県政!」
講師 藤崎たけし氏 鹿児島県議
- ◆講演会 「県議会議員選挙の裏側」
講師 野元俊英氏 KTS 鹿児島テレビ
- ◆レクリエーション
ボーリング大会
- ◆講演会 「人生は歯で決まる!?
～今宵はメンタルな話をレンタル～」
講師 長阪瑠美子氏
メンタルケア心理士
- ◆講演会 「決断と抱負」
講師 打越あかし氏 前鹿児島県議
- ◆講演会 「子供教育について」
講師 内明宏氏 保健福祉環境部部長
- 講演会 「取材現場で思うこと・・・!」
◆講師 下前原章子氏 鹿児島テレビ
- ◆特別イベント
『おはら祭り in 照国表参道』出店
- ◆講演会 「音で暮らしに豊かさと癒し、
そして元気を」
講師 森田孝一郎氏 RhythmHeart